

令和元年度 第2回 尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：令和元年7月29日（月）15時00分～15時40分

場 所：尾道市立大学E棟1階120会議室

出席者：尾道市公立大学法人評価委員会 萩原委員長、瀬戸委員、高垣委員、豊田委員、
藤井委員

その他の出席者

事務局（尾道市総務課） 中津総務課長、山崎総務課長補佐、土本主任

オブザーバー 公立大学法人尾道市立大学 中谷理事長、藤澤理事、寺山理事、
邵理事、荒井経済情報学部長、
吉原芸術文化学部長、
信木芸術文化学部日本文学科長、
有吉経済情報学部教授、松浦企画広報室長、
前田係長、森下専門員、前迫主事、
土岸総務課長、崎丸学務課長

報告事項：令和元年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨について

議 題：平成30事業年度に係る業務実績評価結果について

【報告事項】

- 1 令和元年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について
令和元年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会議事要旨について、原案のとおり承認し、速やかに公開することとした。

【議 題】

- 1 平成30事業年度に係る業務実績評価結果について
平成30事業年度に係る業務実績評価について、法人及び事務局から説明を行った後、委員から次のような意見があった。

（委員）小項目評価 P37【キャリア開発委員会】で掲げた計画が、結果として「実施できなかった」とあるので、評価結果としては3から2に下げ、特記事項に「OB・OG調査とデータベース化を着実に推進していただきたい」と記入してはどうか。P38【学生委員会】について、結果として「見直しの検討には至っていない」ので、特記事項に「年度計画へ掲げた見直しを検討していた

だきたい」というコメントを記入してはどうか。評価結果については、前段の実績もふまえて3のままとするかご意見をいただきたい。

→【キャリア開発委員会】の評価結果を2に下げることを選択し、【学生委員会】の評価は3のままとする。

(委員) P44【教務委員会】について、計画の進行状況等を大幅に変更され、前半に実績があり、後半に検討するなどの改善がみられる。全学的な教学マネジメントの課題整理とあるが、課題は整理されたか。

(法人) 課題は明確であるが、カリキュラムに具体的に落とし込めていないところがある。

(委員) 実績としては、かなり改善されているので、来年度も継続していただきたい。評価結果を2としていたが3へ修正してはどうか。

→3へ修正する。

(委員) P45【自己点検・評価委員会】についても、計画の進行状況等の記述を修正され、自己評価が2から3になっており、評価結果を2としていたが3へ修正してはどうか。

→3へ修正する。

(委員) 業務実績報告附属資料のP14入試の状況の表中、「定員達成率」は「定員充足率」に修正した方がよい。その充足率がここ3年間は110%を超えているが、定員管理をどのように考えているか。

(法人) 定員は10%から10数%を目標として考えている。毎年どれだけの合格者が入学するかを予測しながら決めているが、大きくズレることがある。

(委員) 文部科学省の資料によると、H31年度以降については、超過率を1.05倍～1.15倍未満(規模での違いあり)にするよう記述があり、これは内部質保証にもつながることで、教員一名当たりの学生数にも影響があるので、従来よりもう少し超過率にも気を付ける必要がある。

(法人) 現教員の人数やゼミの大きさ、授業の形態による人数など予算の関係もあるが、ご指摘に関しては検討する。

※ 評価結果については、小項目評価の変更に合わせて、大項目評価を変更することとし、評価委員会として評価段階の上下はしない。